

# 「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

## 全国会議ニュース



2021年6月7日発行 (No.13) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

### 4/30・5/28 社福経営トップセミナー2021 「事業経営問題の本質を問う！」を開催

延べ150名の参加!!

#### ●4/30 第1回シンポジウム：テーマ「コロナ禍における社会福祉経営から見える課題」

コロナ禍に見えてきた社会福祉の脆弱さとその歴史的背景を高齢・障害・保育の分野からともに考え学び、今後の打開に向けた力にするためのセミナーとなりました。

憲法と50年勧告をよりどころとしていた権利としての社会福祉が95年勧告以降、自助・互助・共助へと舵を切り、具体的に介護保険導入、障害者自立支援法、子ども子育て新制度へとつながってきました。バラバラな攻撃のようで、根は共通。市場原理に基づく多様な経営主体の導入、措置制度の廃止、契約制度、常勤換算方式。そして、支援の物差しは豊かな経験による実践からITやロボットを駆使した効率と生産性が高い支援が良しとされるものに。しかし、その脆さは今回のコロナ禍で明らかになりました。

保育と介護・障害の違い、また共通する課題も見えてきました。憲法25条の福祉、介護保険ではなく老人福祉法の理念が重要であること。児童福祉法24条1項の意義。職員配置、面積基準などの最低基準は、本当に最低な基準であることなど。

今回は初めての試みで、まだ発展途上のセミナーであると感じましたが、全国会議が取り組もうとしている分野横断の共通課題を明らかにし、大きな共同と連帯を前進させる重要な第一歩になったのではないかと思います。



#### シンポジスト

基調報告：茨木範宏氏（大阪福祉事業財団）、高齢分野：常陸実氏（ひまわり福祉会）、障害分野：高橋孝雄氏（みぬま福祉会）、保育分野：石川幸枝氏（愛児福祉会）、コーディネータ：石倉康次氏（立命館大学教授）

#### ●5/28 第2回二宮厚美氏（神戸大学名誉教授）講演：テーマ「憲法と福祉国家解体戦略～構造改革として進められた新自由主義施策の帰結～」



「憲法にもとづく福祉国家原則を確認し、新自由主義的反動との対決点を明確にする」という始まりから講演がスタートしました。そもそも憲法にもとづく福祉国家とはいかなるものか、憲法25条生存権の現代的評価、新自由主義の歴史的経過と本質、そしてコロナ禍で浮き彫りになった新自由主義との対決点と話は展開されました。あっという間の2時間。講演部分は前撮りさせていただいたこともあり、最後に二宮先生、ライブで登場し元気な姿を見せていただきました。

#### ★二宮氏講演参加者の感想アンケートより

- ・「新自由主義が19世紀からあったこと、その時の意味と戦後から70年代以降の規制緩和、新たな新自由主義の誕生。よくわかりました。また社会権の中身、最後のコメントの享受能力を引き出すのが福祉労働者の専門性という点が響きました。」
- ・「久しぶりに二宮先生の講演を聞き元気が湧きました。今のコロナ禍の中で浮き彫りになったエッセンシャルワークの大切さとその脆弱性、脆弱にしてきた新自由主義の福祉社会攻撃と解体戦略、コロナ禍から何を学びいかにして権利としての社会保障、社会福祉を再構築していくのか、とても分かりやすく学ぶことが出来ました。今の局面をチャンスに活かすことが出来るのか、さらにひどい社会が続くのか、秋の政治決戦で問われています。閉会の挨拶にありましたように、今こそ福祉関係者が政治にもっと参画し、変革を通して憲法に基づく社会福祉を実現しましょう。」
- ・「本質的なお話で感動とともに深く理解できたという思いが今の率直な感想です。19世紀後半からの自由権から戦後福祉国家、そして新自由主義という流れがよく理解できました。憲法 社会権保証を生かす5つの課題や憲法25条生存権の評価などとても勉強になりました。「必要充足・応能負担原則」と専門性。福祉労働者の専門性とは言語的コミュニケーションの力であり、享受能力を引き出すのが専門性ということに確信を持ちました。」

リバイバル  
2021 社福経営  
トップセミナー  
YouTube 配信  
6/28～7/11  
申込フォーム  
<https://forms.gle/4CPrxSgFyq dV2ihp8>

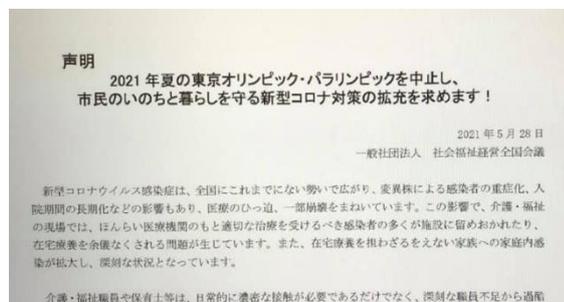


## 5/24 保育情勢学習会「コロナ禍における保育制度『改革』の真の意義を考える」を行いました！

参加者は約 70 名。研究者であり、働く女性であり、子育てと保育運動真っただ中にある田中智子先生(佛教大学教授)のお話は学びとともに保育の専門性と醍醐味を共感し、私たちに勇気を与えてくれるものでした。



**声明「2021 年夏の東京オリンピック・パラリンピックを中止し、市民のいのちと暮らしを守る新型コロナ対策の拡充を求めます！」**を 5/28 社員総会で採択しました。シェア・拡散をお願いします!!



### ★保育情勢学習会参加者の感想アンケートより

・「福祉の脆弱化に至る経緯がよくわかりました。作り出された格差に怒りを感じるとともに、大人とか子どもとかいう前にひとりの人間としての尊厳にかかわることで無視されている状況が許せません。ひとり一人が安心して暮らす社会・・・とはどうゆうことなのか国民が麻痺させられているように思います。ほんとに政治家は何をしているんでしょう？国民のために働かなければならないと思います。今を生き延びている子どもたちが大人になった時の社会が今より生きづらくなる(社会保障、人とのつながり、人権保障等)であろうと思うと本来の社会福祉をいま一度問い直さなければならないと思いました。」

・「田中先生との出会いもさることながら、その意味を一言で表現した、石川先生のまとめ「社会から保育を見る」が名言でした。本質を言い当てていて、今後の糧になっていくと思います。」

・「ジェンダー格差が先進国最下位の日本で子育てをする中で、子育て中・無職の女性の方の自死が増えていることこそ、日本社会の子育て政策の脆弱さを浮き彫りにしていると思います。女性に対する制度に留まらず社会全体で子育てをする制度の充実が、こども達の育つ権利に繋がると強く感じました。女性問題と社会から保育を見る視点の大切さを今後も大切にしたいと思いました。ありがとうございました。」

## 全国会議よりお知らせ

◆6/2 法人業務担当者情報交換会。その名の通り法人本部業務の中心にいる方々で情報交換会を行いました。出るわ出るわ、いろんな問題提起が！ハラスメント対策、中途採用職員の給与見直し、事務センター構想、IT システム対策、理事評議員賠償保険、高年齢者就業確保措置、会計監査法人設置、セキュリティのリスクマネジメントなどなど。どの法人も共通する課題ばかり。今後、会員向け情報提供や学習交流会につなげていきたいと思っています。次回は 9 月。12 月には拡大版でやる計画も。縁の下の力持ち、法人本部業務の管理職にスポットをあてていきます！

◆雑誌「福祉のひろば」で 4 月から社会福祉経営全国会議の連載「福祉の世界に飛び込んだ私の履歴書」が始まっています。社会福祉経営のリーダーの素敵なお話。4 月号湧井規子さん(名古屋キリスト教社会館理事長)、5 月号丹野広子さん(宮城厚生福祉会理事長)、6 月号徳永満理さん(おさなご福祉会理事長)。7 月以降もお楽しみに。ぜひ読んでください。会員法人に原稿依頼をしていきますのでご協力をお願いします。(購読申込は総合社会福祉研究所へ)

◆「法人本部設置と機能・経験交流会」と「人材定着経験交流会」を準備中。日程が決まり次第ご案内します。

◆会員目標 200 法人に向けて会員拡大にご協力ください。WEB 訪問も行います。入会案内資料は事務局までお声かけください。

◆2021 年度会費納入のお願い。振込用紙をお送りしています。早期のお振込みをお願いします。

## 全国会議の活動報告

### 最近の動き

- ・ 5/6 事務局会議
- ・ 5/7 理事会
- ・ 5/12 政策運動委員会
- ・ 5/17 全国福祉経営研究交流会 in 兵庫実行委員会
- ・ 5/18 社会福祉研究交流集会 (8/29.30) 実行委員会
- ・ 5/19 研修委員会
- ・ 5/20 管理職養成学校事務局会議
- ・ 5/24 保育情勢学習会 (再企画) 企画委員会
- ・ 5/27 福祉のひろば編集企画会議
- ・ 5/28 社福経営トップセミナー (講演) 定時社員総会
- ・ 6/2 法人業務担当者情報交換会
- ・ 6/3 事務局会議



### 当面の予定

- ・ 6/4 政策運動委員会
- ・ 6/7 顧問南大阪法律事務所訪問
- ・ 6/10 調査研究部会
- ・ 6/11 業務執行理事会
- ・ 6/14 顧問中央会計事務所訪問
- ・ 6/16 研修委員会
- ・ 6/17 顧問井村社労士訪問
- ・ 6/21 全国福祉経営研究交流会 in 兵庫実行委員会
- ・ 6/24 福祉のひろば編集企画会議
- ・ 6/28 企画委員会 リバ研「トップセミナー」配信
- ・ 7/1 事務局会議

